漢文入門

訓読の世界 ― 訓読 ―

鳥語り、花香る。

天朗らかに、気清し。

大器は晩成す。

禍を転じて福と為す。

少年老い易く学成り難し。

人学ばざれば、道を知らず。

羊頭を懸けて、狗肉を売る。

百聞は一見に如かず。

吾日に吾が身を三省す。

君子は其の言の其の行ひに過ぐるを恥づ。

君子は言を以て人を挙げず。人を以て言を廃せず。

人の悪を称する者を悪む。

児孫の為に美田を買はず。

良薬は口に苦し。

青は之を藍より取る。

朋友に信ぜられず。

過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ。

心焉に在らざれば、視れども見えず。

三人行へば、必ず我が師有り。

未だ生を知らず、焉くんぞ死を知らんや。

老いの将に至らんとするを知らず。

時に及んで当に勉励すべし。

過ぎたるは猶ほ及ばざるがごとし。

惟だ仁者のみ宜しく高位に在るべし。

人生意を得ては須らく歓を尽くすべし。